

2011/10/04

桑名市議会
愛敬

桑名市メールマガジン「くらしの安全情報 10月号」

震災時のネット活用法

今回の大震災では、インターネットで安否情報や被災地の状況、政府の発表など、多くの有益な情報が提供されています。検索サービスの「グーグル」は、被災者の安否情報を検索できるサービスを行っています。

「パーソン・ファインダー」と呼ばれるこのサービスは、被災者が自分の名前や状況、連絡先などを登録すれば家族や知り合いが確認できる仕組みで、NHKに視聴者から寄せられた安否情報も検索できるようになっています。

短い文章を投稿するサービスとして人気の「ツイッター」では、個人だけではなく政府や各省庁、NHKなど報道機関もさまざまな情報をリアルタイムで投稿しています。

一方でインターネットは、情報が早く伝わるだけに、個人が発信した不正確な情報やうその情報が携帯電話のメールなどを通じて出回るおそれもあり、総務省が注意を呼びかけています。